

7. 水源地域動態

7.1 水源地域の概況

7.1.1 水源地域の概要

比奈知ダムの水源地域は、平成15年まで名張市、青山町、美杉村（ともに三重県）、御杖村（奈良県）の1市1町2村であった。しかし、平成16年11月1日の市町村合併により、青山町は上野市等6市町村で合併し「伊賀市」となった。また、平成18年1月1日の市町村合併により、美杉村は津市等10市町村で合併し「津市」となった。これに伴い、現在の水源地域は「名張市」「伊賀市」「津市」「御杖村」の3市1村となっている。

(1) 流域の状況

流域市町村の面積及び流域面積を表7.1.1-1に示す。

表7.1.1-1 比奈知ダム流域の市町村

市町村名	旧市町村		比奈知ダム 流域面積 (km ²)	割合 (%)
	旧市町村名	面積 (km ²)		
名張市	名張市	129.76	10.44	13.83
伊賀市	旧青山町	109.00	0.31	0.40
津市	旧美杉村	206.70	20.77	27.51
御杖村	御杖村	79.63	43.98	58.26
合計		525.09	75.50	100.00

※市町村面積

名張市・御杖村：国土交通省国土地理院「平成20年全国都道府県市区町村別面積調(4月1日速報値)」参照。

旧青山町・旧美杉村：国土交通省国土地理院「平成17年全国都道府県市区町村別面積調」参照。

※比奈知ダム流域面積はプランメータによる測定。

※旧青山町は平成16年11月1日に旧上野市、旧阿山郡阿山町、旧伊賀町、旧島ヶ原村、旧大山田村と合併し、「伊賀市」となった。

※旧美杉村は平成18年1月1日に旧津市、旧久居市、旧河芸町、旧芸濃町、旧美里村、旧安濃町、旧香良洲町、旧一志町、旧白山町と合併し、「津市」となった。

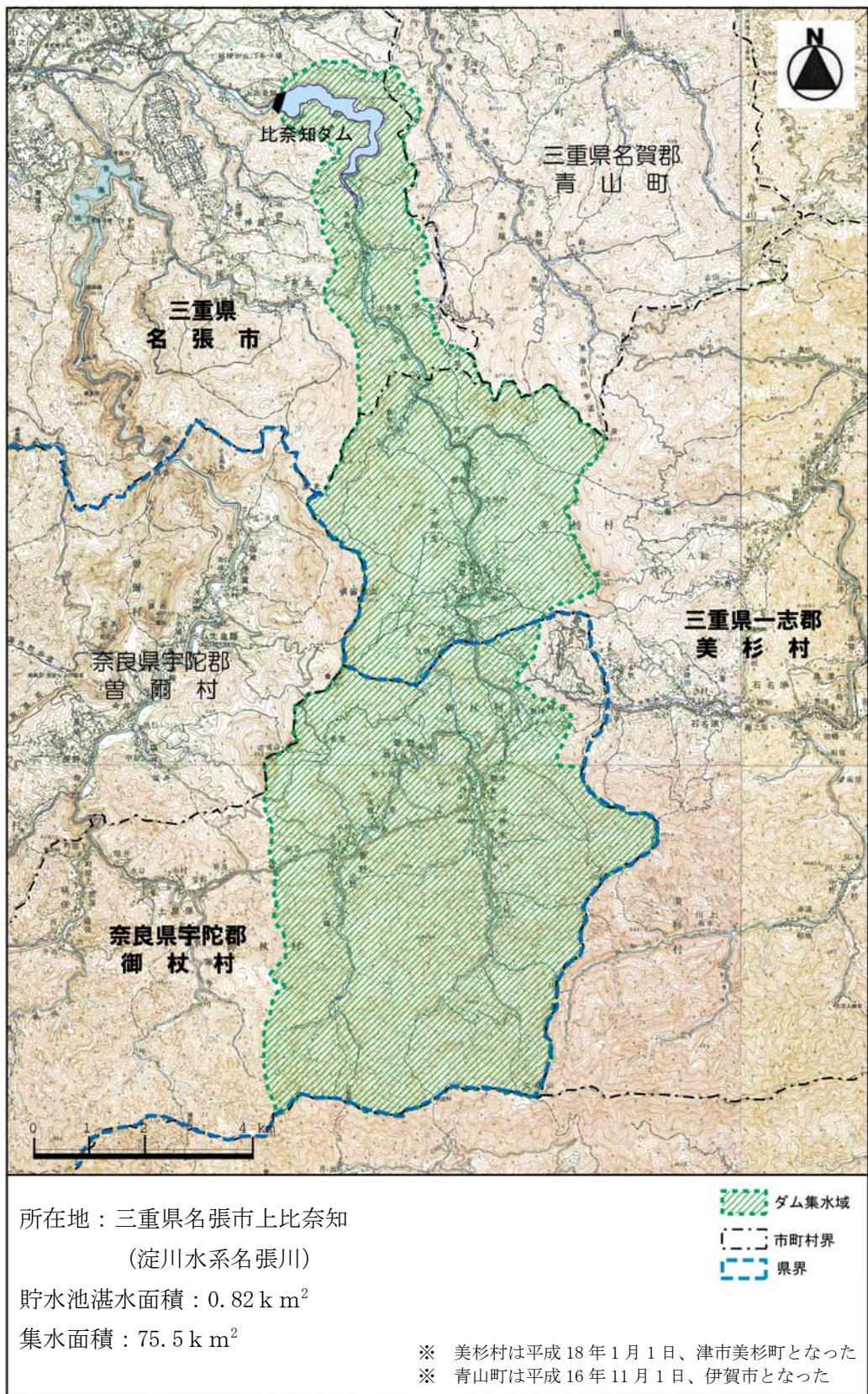


図 7.1.1-1 比奈知ダム流域市町村位置図

(2) 人口・世帯数の推移

比奈知ダム流域内における人口・世帯数推移を、表 7.1.1-2、図 7.1.1-2 に示す。

流域内では御杖村の人口・世帯数が最も多く、流域の約 50%程度を占めている。次いで、美杉村、名張市の順である。流域内世帯数で見ると、H2～H7 の間に増加傾向が認められるものの、他は減少傾向を示している。

表 7.1.1-2 比奈知ダム流域内人口・世帯数推移 (S55～H17)

(単位 : 人)

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
名張市	830	796	690	767	643	564
美杉村	1,670	1,663	1,587	1,503	1,392	1,207
御杖村	2,477	2,349	2,167	2,037	1,869	1,711
合計	4,977	4,808	4,444	4,307	3,904	3,482

(単位 : 世帯)

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
名張市	191	187	178	268	174	166
美杉村	441	429	416	409	405	386
御杖村	671	646	621	628	622	600
合計	1,303	1,262	1,215	1,305	1,201	1,152

※ 各年の国勢調査結果（小地域集計結果）による。

※ 比奈知ダム流域内の小地域（町丁・字）は以下のとおりである。

- ・名張市：上比奈知、上長瀬、長瀬、滝之原
- ・美杉村：太郎生
- ・御杖村：大字菅野、大字神末

※ 美杉村は平成 18 年 1 月 1 日、津市美杉町となった。

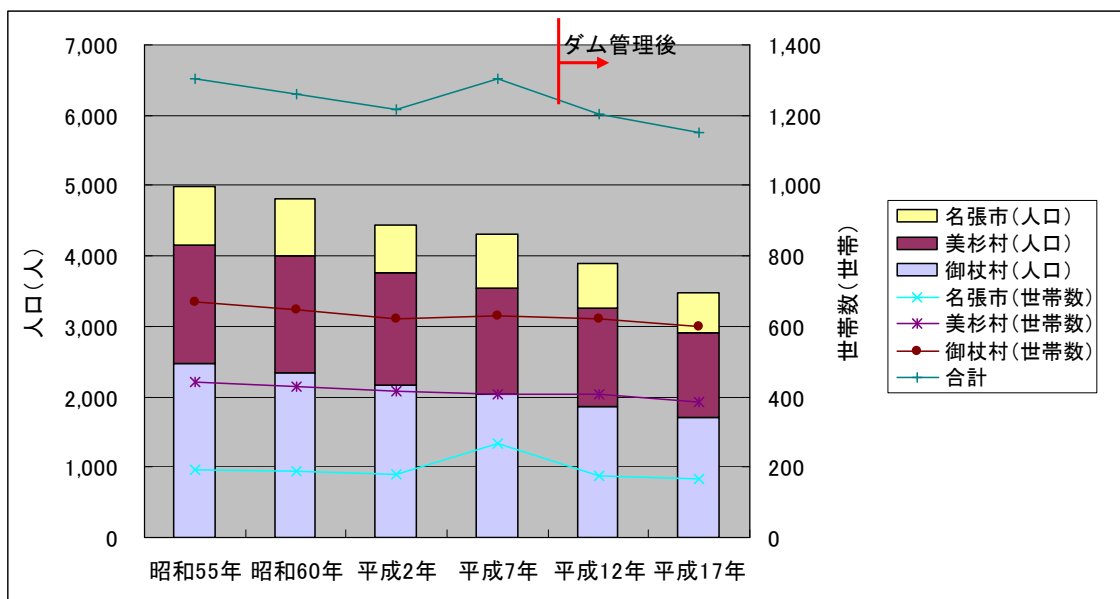


図 7.1.1-2 比奈知ダム流域内人口・世帯数推移 (S55～H17)

(3) 就業者数の推移

比奈知ダム流域内における就業者数推移を、表 7.1.1-3、図 7.1.1-3 に示す。全体としては、流域内人口・世帯数の減少と同様に就業者数も減少している。町丁・字単位で産業大分類別の就業者数が公表されている御杖村においては、第三次産業の就業者数が全体の約 50%を占めている（平成 17 年）。

表 7.1.1-3 比奈知ダム流域内における就業者数推移（H12～H17）

		(単位：人)	
		平成12年	平成17年
名張市	就業者数合計	300	254
美杉村	就業者数合計	620	572
御杖村	就業者数合計	832	742
合計	就業者数合計	1,752	1,568

- ※ 各年の国勢調査結果（小地域集計結果）による。
- ※ H7 以前については小地域（町丁・字）での集計結果は公表されていない。
- ※ 名張市・美杉村については産業大分類別の集計結果は公表されていない。
- ※ 比奈知ダム流域内の小地域（町丁・字）は以下のとおりである。
 - ・名張市：上比奈知、上長瀬、長瀬、滝之原
 - ・美杉村：太郎生
 - ・御杖村：大字菅野、大字神末
- ※ 美杉村は平成 18 年 1 月 1 日、津市美杉町となった。

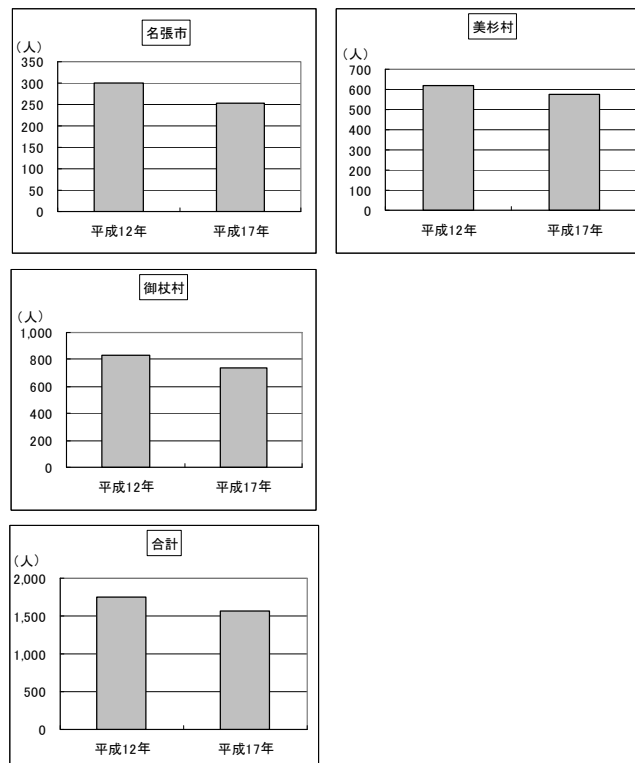


図 7.1.1-3 比奈知ダム流域内における就業者数推移（H12～H17）

(4) 土地利用

比奈知ダム流域市町村（流域外を含む）の土地利用状況を表 7.1.1-4 に示す。

また、流域内における土地利用状況を、図 7.1.1-4、表 7.1.1-5 に示す。

比奈知ダム流域内では、林野（針葉樹林）が大半を占めているほか、田・桑畑が点在している。

また名張市には、比奈知ダム下流域に最終処理場が存在している。

表 7.1.1-4 比奈知ダム流域市町村（流域外を含む）の土地利用状況

市町村名	旧市町村名	総面積 (ha)	宅地 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	樹園地 (ha)	林野 (ha)	その他 (ha)	ゴルフ場 (ha)	最終処分場 (ha)	都市公園		自然公園	
											その他 (ha)	国定公園 (ha)	県立公園 (ha)	
御杖村	御杖村	7963	60.7	79	14	1	7059	749.3	0	0	0	749.3	837	0
伊賀市	青山町	10900	174.1	269	27	4	8876	1549.9	149.0	0	8	1392.9	1302	0
名張市	名張市	12976	1196.7	754	87	37	7053	3848.3	515.5	2,485	99.7	3230.615	1855	2885
津市	美杉村	20670	143.5	144	31	25	18078	2248.5	249.0	0	0	1999.5	250	17544

注) 1. 「平成 17 年度 木津川ダム流域情報調査報告書、平成 18 年 3 月、木津川ダム統合管理所」より引用。

2. 元出典は以下のとおりである。

総面積

奈良県：2005 年農林業センサス_奈良県統計書(インターネットより収集)

三重県：三重県市町村累年統計表平成 18 年 1 月調 (インターネットより収集)

※青山町：H16.1.1 現在(合併により以後詳細入手不可)

※名張市：H18.1.1 現在

※美杉村：H17.1.1 現在 (合併により以後詳細入手不可)

宅地面積

奈良県：2005 年農林業センサス_奈良県統計書(インターネットより収集)

三重県：三重県市町村累年統計表平成 18 年 1 月調 (インターネットより収集)

※青山町：H16.1.1 現在(合併により以後詳細入手不可)

※名張市：H18.1.1 現在

※美杉村：H17.1.1 現在 (合併により以後詳細入手不可)

田・畑・樹園地

2005 年農林業センサス(インターネットより収集)

林野

2000 年世界農林業センサス(インターネットより収集)

ゴルフ場

奈良県：平成 17 年度土地利用動向調査

平成 16 年度 奈良県統計年鑑

三重県：所在地を地図で確認し、ゴルフ場全国コースガイド西日本編で収集

都市公園等

奈良県：平成 15 年度 奈良県市町村要覧(平成 14 年度公共施設状況調査)

三重県：平成 16 年度 三重県市町村要覧(平成 14 年度公共施設状況調査)

自然公園

奈良県：奈良県生活環境部風致保全課自然環境係(自然公園等区域図)

平成 15 年度 奈良県林業統計(平成 17 年 1 月発行)

三重県：三重県伊賀県民局生活環境部森林部森林・林業室森林保全 G

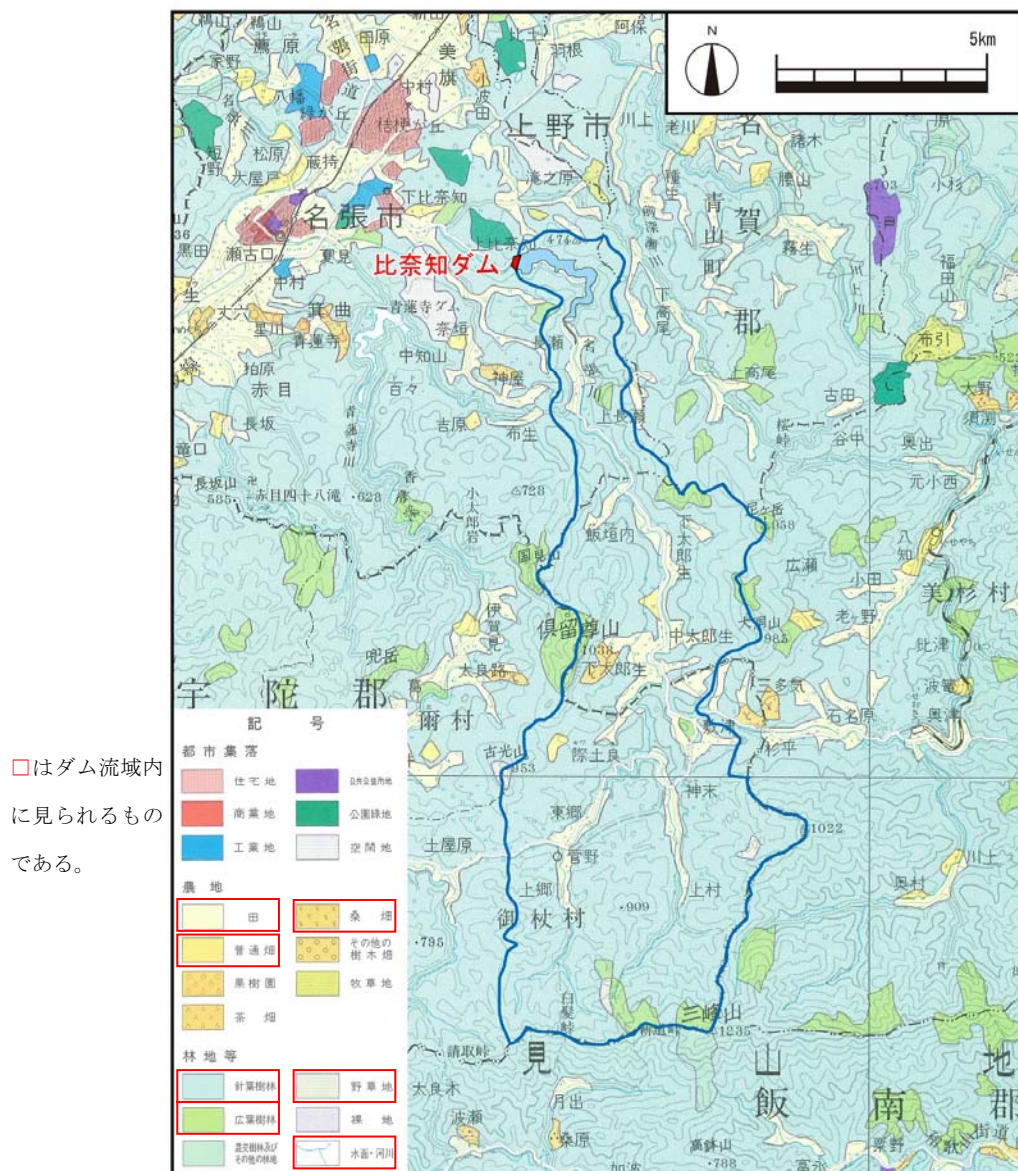
三重県環境森林部自然環境室ホームページ 伊賀地域森林計画書

<http://www.eco.pref.mie.jp/gyousei/keikaku/sonota/sinrin6/body03.htm>

最終処理場

奈良県：奈良県産業廃棄物生活環境部廃棄物対策課より聞き取り

三重県：平成 17 年版 三重県環境白書



※土地利用図(1:200,000) (「伊勢」昭和58年編集、昭和60年発行、国土地理院)に加筆。

図 7.1.1-4 比奈知ダム流域内の土地利用状況

表 7.1.1-5 比奈知ダム流域内の土地利用状況

土地利用	面積 (km ²)	割合 (%)
田	7.51	9.94
普通畑	0.32	0.43
桑畑	0.41	0.54
野草地	0.32	0.43
針葉樹林	63.59	84.21
広葉樹林	2.55	3.38
水面・河川	0.80	1.07
合計	75.50	—

※土地利用図(1:200,000) (「伊勢」昭和58年編集、昭和60年発行、国土地理院)において、プランメータで面積を算出した。

7.1.2 ダムの立地特性

(1) ダムへのアクセス

比奈知ダムは大阪から東へ約 60 km のところに位置し、大阪都心部から自動車以西名阪自動車道を利用して約 1 時間半、近鉄線（特急）を利用して約 1 時間（名張駅）でアクセスできる。また、比奈知ダムは名張駅から約 5km と都市部に近いため、比較的使用しやすい立地環境にある。



図 7.1.2-1 周辺都市からの交通網 (出典:比奈知ダム HP)

(2) ダム周辺の観光施設等

比奈知ダムの周辺には図 7.1.2-2 に示されたような観光資源がある。流域の代表的な観光資源としては、赤目四十八滝、香落溪、青蓮寺ダム、また名張市近郊では夏見廃寺跡などがあり、温泉も点在している。



図 7.1.2-2 ダム周辺の観光入込み数

※平成 16 年度 全国観光動向より

※平成 16 年度以降については、奈良、月ヶ瀬、信楽、伊賀がそれぞれ合併したことによりデータが明確ではないことから平成 16 年度データを使用する。

比奈知ダム周辺の観光施設等を図 7. 1. 2-3 に示す。



図 7. 1. 2-3 比奈知ダム周辺の観光施設(出典:比奈知ダム HP)

表 7. 1. 2-1 比奈知ダム周辺の観光施設(参考:比奈知ダム HP、津市観光協会 HP、御杖村役場 HP)

名称	概要	所在地
美旗古墳群	国の史跡に指定され、名張市が誇る重要な文化遺産となっている美旗古墳群は、伊賀氏または名張氏のものとして推測され県下最大規模を誇っています。「小塚」「毘沙門塚」「女郎塚」など、大小7基の古墳が点在しています。	三重県 名張市 美旗
夏見廃寺跡	夏見廃寺は、名張川右岸の男山南斜面にある古代寺院跡で、出土遺物から7世紀の末から8世紀の前半に建立されたと推定されています。白鳳文化を伝える夏見廃寺は伽藍配置に特異な点が見られるなど国の史跡に指定され、併設されている「夏見廃寺展示館」では、復元金堂を始め、各種の出土品などを展示しています。	三重県 名張市 夏見
名張藤堂屋敷	名張は古くから旧街道筋の要所、宿駅として開け、江戸時代には藤堂氏の城下町として栄えた町です。現在でも市街地には、往時を偲ぶ面影が数多く見られるほか、いたる所に神社・仏閣・旧跡が点在し、文化遺産を今に伝えています。	三重県 名張市 夏見
青蓮寺ダム(青蓮寺湖)	青蓮寺川に建設された洪水調節を主体とする多目的ダムである「青蓮寺ダム」によって生まれた湖で、奇勝「香落溪(こうちだに)」の玄関口にあり、青い湖面には四季を通じて新緑や紅葉が映えて美しさを引き立てています。また、湖畔では、キャンプに、バードウォッチングにとアウトドアライフが楽しめ、シーズンには広がる果樹園でぶどう・いちご狩りなどを満喫することができます。	三重県 名張市
香落溪	室生火山群が造りあげた奇勝。雄大な柱状節理の岸壁が延々と続きます。鬼面岩、天狗柱岩、小太郎岩などと名付けられたユーモラスな奇岩や、勇壮な自然の造形美が見どころです。	三重県 名張市 中知山
赤目四十八滝	日本の滝百選にも選ばれた滝。深い木々に包まれた渓谷には、大小の滝や奇岩の織りなす景観が約4kmにわたって続きます。遊歩道も設けられ、気軽な散策コースとして人気があります。中でも赤目五瀑と呼ばれる滝は必見です。	三重県 名張市 赤目町
三多気の桜	国道368号から真福院の山門に至る1.5km余の参道は、馬子唄にも歌われた山桜の名所。その桜並木は国の名勝に指定され、日本さくら名所百選にも選ばれています。4月には桜祭りも催され、毎年大勢の観光客でにぎわいます。	津市 美杉町 三多気
みつえ青少年旅行村	バンガロー、テントサイトなどの宿泊施設があるキャンプゾーンと、ジャンボ滑り台、ボブスレー等が楽しめる遊具ゾーンで大自然が満喫できるアウトドアスポットです。	宇陀郡 御杖村 神末



美旗古墳群 (名張市美旗)



夏見廃寺跡 (名張市夏見)



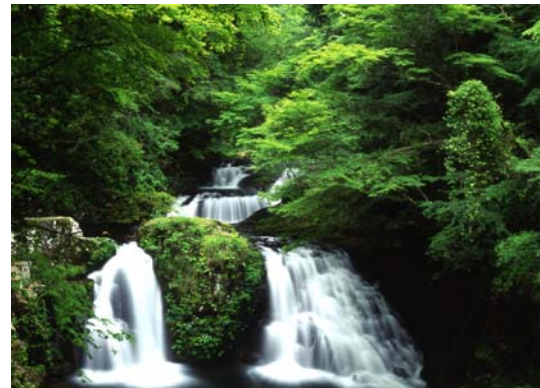
名張藤堂屋敷 (名張市夏見)



青蓮寺ダム (名張市)



香落溪 (名張市)



赤目四十八滝 (名張市赤目町)



三多気の桜



みつえ青少年旅行村

図 7.1.2-4 ダム周辺の観光資源 (写真提供: 比奈知ダム管理所・比奈知ダム HP)

7.2 ダム事業と地域社会情勢の変遷

比奈知ダム事業に関わる地域社会の情勢と変化を年表にて整理する。

表 7.2-1 ダム事業と地域社会の変化(年表)のイメージ

年代	比奈知ダム事業と インフラ整備事業	地域社会の変化		
		名張市	美杉村	御杖村
M22				「御杖村」成立
S28				台風13号襲来
S29		市制施行		
S30			太郎生村等旧7村が合併し美杉村となる	
S33			台風17号襲来、全半壊8戸、被害総額2,700万円	
S34		伊勢湾台風により死者11人ほか大被害を受ける。災害救助法の適用を受ける	伊勢湾台風襲来、死者・行方不明者12名、重傷者2名、全壊38戸、半壊84戸、床上浸水100戸、被災者1,905名、公共施設等被害総額13億円	伊勢湾台風上陸 御杖村災害復旧対策委員会設置
S35		伊勢湾台風で流失の新町橋復旧		伊勢湾台風に関連し治山事業が進展
S35			国勢調査実施、人口16,043人、合併時より7%減少	国調人口最高となる(6,533人)
S36		北田市長「四大事業(住宅開発、ダム建設、国道整備、観光開発)」を打ち出す		
S36		第二室戸台風襲来		第二室戸台風襲来(災害救助法適用)
S37			台風26号により多気中学校校舎倒壊	
S40		上水道給水開始		
S40			台風23・24号が来襲、全・半壊・床上浸水110戸、被害総額約4億6千万円	
S41		青蓮寺ダム着工		
S45		青蓮寺ダム完成		
S45		室生・赤目・青山国定公園に指定		
S45			過疎地域振興法に基づく過疎地域指定に係る振興5ヵ年計画樹立	過疎地域対策緊急措置法の指定
S45				御杖村開発統合計画 道路整備計画
S46			美杉村第1次総合計画樹立	
S47	比奈知ダム建設事業を「淀川水系における水資源開発基本計画の全部変更」に含めて告示			
S47			君ヶ野ダムが完成	
S48	比奈知ダム調査所を開設	国道165号全線開通		青少年旅行村オープン
S49				
S51			第2次美杉村総合計画樹立	
S53		美旗古墳群が国史跡に指定		
S54		市の人口、4万人を突破		
S56		上水道第2次拡張事業着工		
S56			第3次美杉村総合計画樹立	
S57	「比奈知ダム建設事業に関する事業実施方針」指示	市の人口、5万人を突破		
S57	比奈知ダム建設所を設置			
S57	「比奈知ダム建設事業に関する事業実施計画」認可			
S57			台風10号により、重軽傷者18人、全壊13戸、半壊41戸、被害総額209億円の災害被害が発生	台風10号襲来
S58		上水道第2次拡張事業で富貴ヶ丘浄水場などが完成		
S59	一般損失補償基準提示			
S60	一般損失補償基準妥結			
S61	淀川水源地域対策基金の対象ダム指定及び業務細則決定			
S61			第3次後期美杉村総合計画樹立	
S62	付替国道368号工事に着手	市の人口、6万人を突破		
S63	淀川水源地域対策基金の業務細則全部変更			
H 2		市の人口、7万人を突破		
H 2			第4次美杉村総合計画樹立 台風19号、20号が続いて来襲 「三多気の桜」、さくらの名所100選に選ばれる	
H 5	比奈知ダム本体建設工事に着手			
H 6	「事業実施方針」変更指示	市の人口、8万人を突破		
H 6	「事業実施計画」変更認可			
H 7	ダム本体打設開始			
H 8	付替国道368号全線供用開始			
H 9	ダム本体打設完了			
H 9	試験湛水開始			
H10	試験湛水終了	台風7号通過 市全域で暴風により被害発生		
H11	「事業実施方針」変更指示			
H11	「施設管理方針」指示			
H11	「事業実施計画」変更認可			
H11	「施設管理規程」認可			
H11	管理開始			
H12		国道368号「上野バイパス」開通		
H13			第5次美杉村総合計画を樹立	
H16		市制50周年記念式典		
H17			美杉村50周年	
H18			津市等10市町村で合併し津市となる	
H19				

※ 美杉村は平成18年1月1日、津市美杉町となった。

(出典：比奈知ダム工事誌、名張市HP、美杉村50周年記念誌、御杖村沿革(行政史))

比奈知ダムによる水没地域は、名張川沿いに上比奈知、長瀬、滝之原の3集落の農地が開けた農林業地域である。

ダムによる直接的な影響として、補償に関する事項を整理した。主な補償は、一般補償として事業に必要な買収面積約145ha、移転戸数20戸である。用地及び補償の実施状況を下に示す。(出典：比奈知ダム工事誌、平成11年3月)

表 7.2-2 比奈知ダムによる直接的な影響

一般補償	土地		149ha
		山 林	123ha
		農 地	22ha
		宅 地	2ha
		その他	2ha
建物	家屋移転	20戸	
公共補償	付替道路15.4km(国道6.6km、市道8.8km)		
特殊補償	漁 業 権		2件
	鉱 業 権		1件
	発電所廃止補償		1件(最大出力800kw)

表 7.2-3 公共補償内容

道路

管理者	路線名	延長幅員(m)	備考
三重県	国道368号線	L=6,580 W=8.0~9.0	道路構造令第3種3級
〃	〃	L=1,750	工事用道路のための局部改良
〃	県道高尾～名張線	L=250 W=6.0	同上
名張市	市道上比奈知～長瀬線	L=約6,800 W=4.0	
〃	市道木の平線	L=約150 W=4.0	
〃	市道滝～赤岩線	L=約370 W=5.0	
〃	生産管理道	L=約600 W=2.5	滝ノ原梨ノ木地内
〃	新旧国道連絡線	L=930 W=6.0	工事用道路9号線

公共施設等

管理者等	施設名	備考
上比奈知・長瀬地区	消防道の代替施設 3ヶ所	堤防等より消防取水が可能な施設
水利組合	農業用井堰代替施設新設	小鮎滝井堰・大井出井堰・昭和井堰
上比奈知地区	バス停留所	
比奈知・長瀬地区	集会所 2ヶ所	移設補償

7.3 地域とダム管理者の関わり

7.3.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理

21世紀のダム事業・ダム管理においては、従来からダムに求められていた治水、利水だけでなく、水源地域の自立的、持続的な活性化を図り、水循環等に果たす水源地域の機能を維持するとともに、自然豊かな水辺環境や伝統的な文化資産等を国民が広く利用できるよう、ハード、ソフト両面の総合的な整備を実施し、バランスのとれた流域の発展を図ることが期待されている。

このため国土交通省では直轄ダム、水資源機構ダムを対象に、地域ごとにダム水源地域の自治体等と共同し、ダムを生かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための「水源地域ビジョン」を策定することとした。

そこで比奈知ダムでは、地元住民や関係機関等が共同して「青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン」を検討、平成16年3月に策定した。

なお、比奈知ダムの水源地域ビジョンの策定にあたっては、青蓮寺ダムおよび比奈知ダムが同じ名張川水系、名張市域に立地して一体的な水源地域を構成することから、両ダムで統一した水源地域ビジョンを策定した。

「青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン」は、

**“青蓮寺ダム、比奈知ダムを活かした
水源地域の自立的、持続的な活性化のための行動計画”**

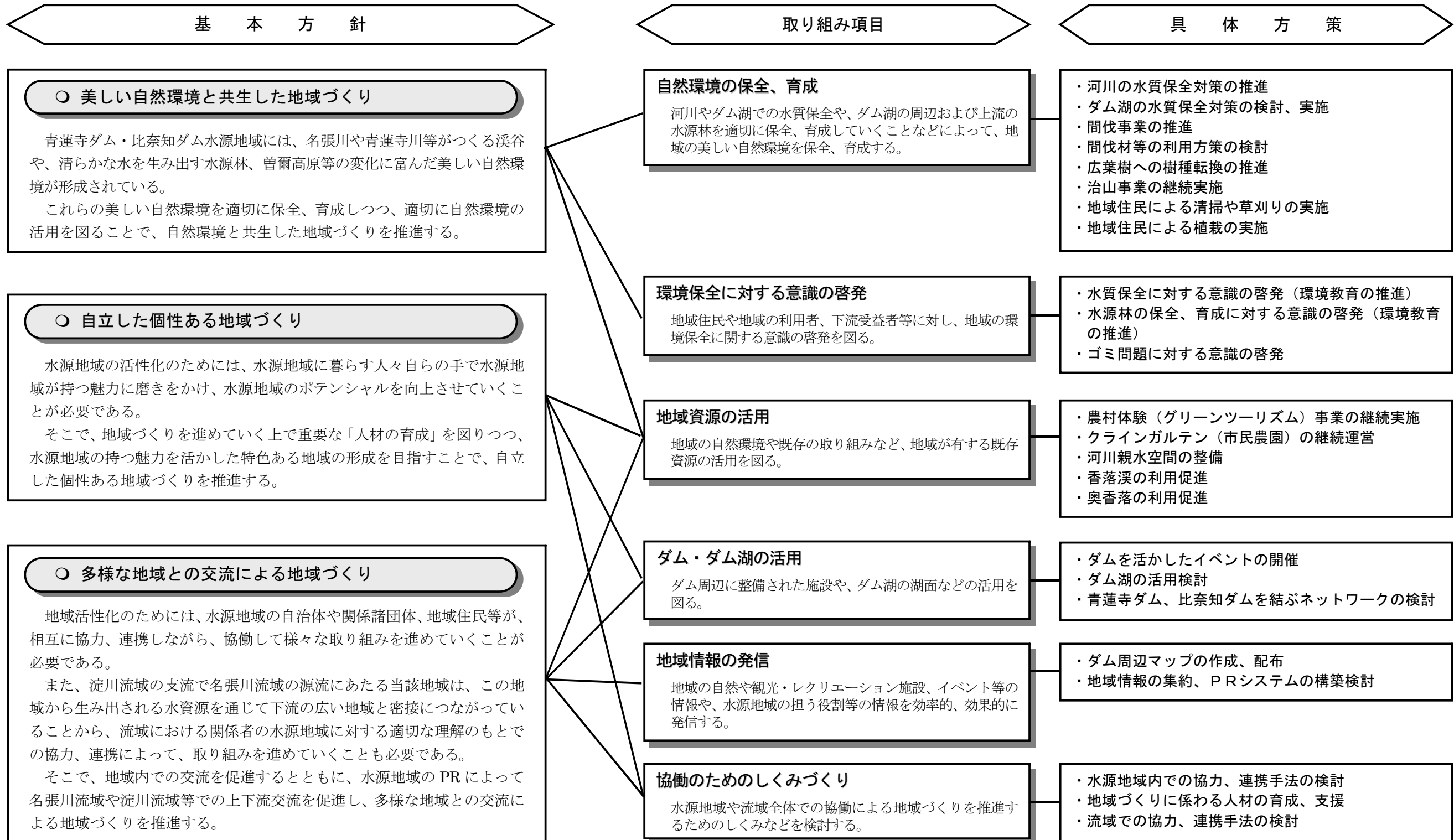
として、青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域の活性化に向けた基本方針を定め、基本方針の実現のための具体的な方策を、ソフト対策に重点をおいて検討、策定したものである。

また、青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョンでは、「地域を越えてつなげよう 木津川をうるおす水いづる郷」をキャッチフレーズに、3つの基本方針と6項目の取り組み項目、合計24項目の具体方策が策定されている。

次頁にビジョン内容を示す。

〈キャッチフレーズ〉

地域を越えてつなげよう 木津川をうるおす水いづる郷



7.3.2 地域とダム管理者の関わり

(1) 青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン

比奈知ダムでは、平成16年3月に「青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン」を策定し、水源地域の市町村と一体となった活性化の取り組み方針がまとめられた。

「青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン」の検討・策定は、以下に示す関係諸機関によって構成される「青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン策定会議」によって行われた。なお、同組織は規約等を設けない緩やかな組織として検討、策定にあたった。

- ・学識経験者
- ・水源地域自治体
- ・水源地域住民代表
- ・関係団体
- ・ダム管理者

また、同会議には、以下に示すオブザーバーが参加し、検討・策定に際しての助言・協力を行った。

<オブザーバー>

- ・国土交通省
- ・三重県
- ・奈良県

「青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン策定会議」では、ビジョンの承認、策定を行う「策定会議」と、策定会議に提示するビジョン(案)を検討する「連絡会」によって構成され、事務局は独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所が担った。

(出典：青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン、平成16年3月)

<青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン策定会議>

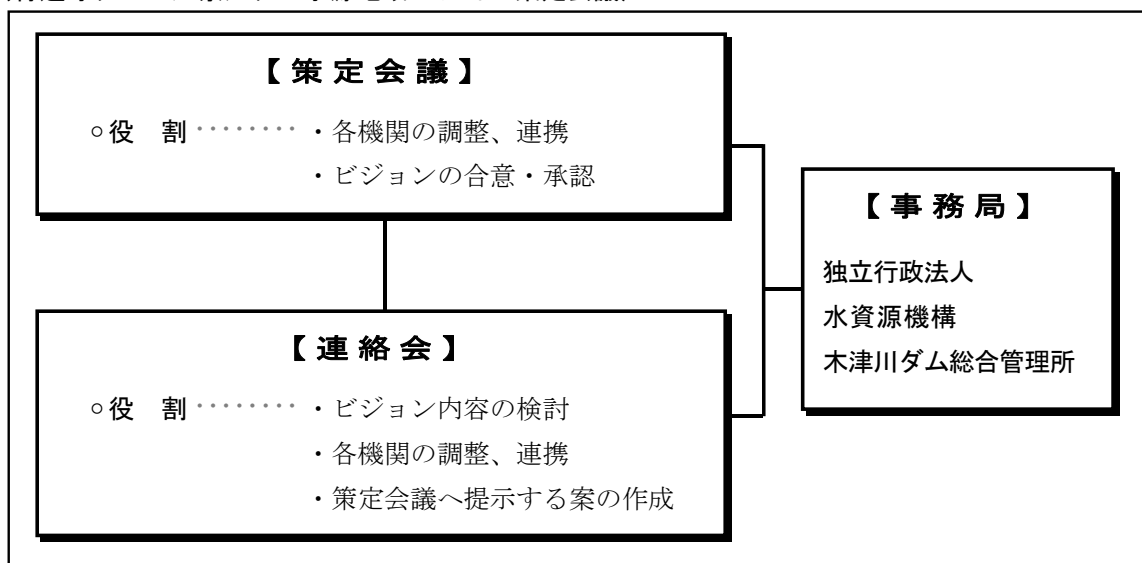


表 7.3.2-1 青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン策定会議のメンバー一覧

(出典：青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン、平成 16 年 3 月)

(平成 16 年 2 月 25 日時点)

構成機関	策定会議	連絡会
学識経験者	大学助教授	大学助教授
水源地域自治体		
名張市	市長	企画財政政策室長
曾爾村	村長	村づくり推進課長
御杖村	村長	地域振興課長
美杉村	村長	総務課長
水源地域住民代表		
名張市住民	—	名張市区長会会長
曾爾村住民	—	曾爾村総代会長
御杖村住民	—	御杖村区長会代表
美杉村住民	—	
関係団体等		
伊賀森林組合	—	組合長
名張川漁業協同組合	—	組合長
青蓮寺香落漁業協同組合	—	組合長
長瀬太郎生川漁業協同組合	—	組合長
名張商工会議所	—	会頭
曾爾村商工会	—	会長
曾爾村森林組合	—	組合長
曾爾村漁業協同組合	—	組合長
御杖村森林組合	—	理事長
御杖村商工会	—	会長
御杖村漁業組合	—	組合長
美杉村太郎生住民センター	—	所長
川の会・名張	—	事務局
わさびの会	—	会長
ダム管理者		
水資源機構 関西支社	支社長	利用者サービス課長
水資源機構 木津川ダム総合管理所	所長	管理課長 青蓮寺ダム管理所長 比奈知ダム管理所長

関係行政機関（オブザーバー）

国土交通省		
近畿地方整備局 河川部河川管理課	河川管理課長	河川管理課課長補佐
木津川上流河川事務所	所長	課長
淀川ダム統合管理事務所	所長	課長
三重県		
地域振興部	部長	主幹
奈良県		
企画部資源調整課	課長	主査

「青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン策定会議」は、図 7.3.2-1 に示すように、連絡会 3 回（平成 15 年 9 月 29 日、12 月 5 日、平成 16 年 1 月 28 日）、策定会議 1 回（平成 16 年 2 月 25 日）を開催した。この間に、水源地域住民を対象にしたアンケート調査や、連絡会メンバーへのアンケート調査、水源地域自治体への聞き取り調査などを実施し、その結果を踏まえて議論を重ね、「青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン」を策定した。

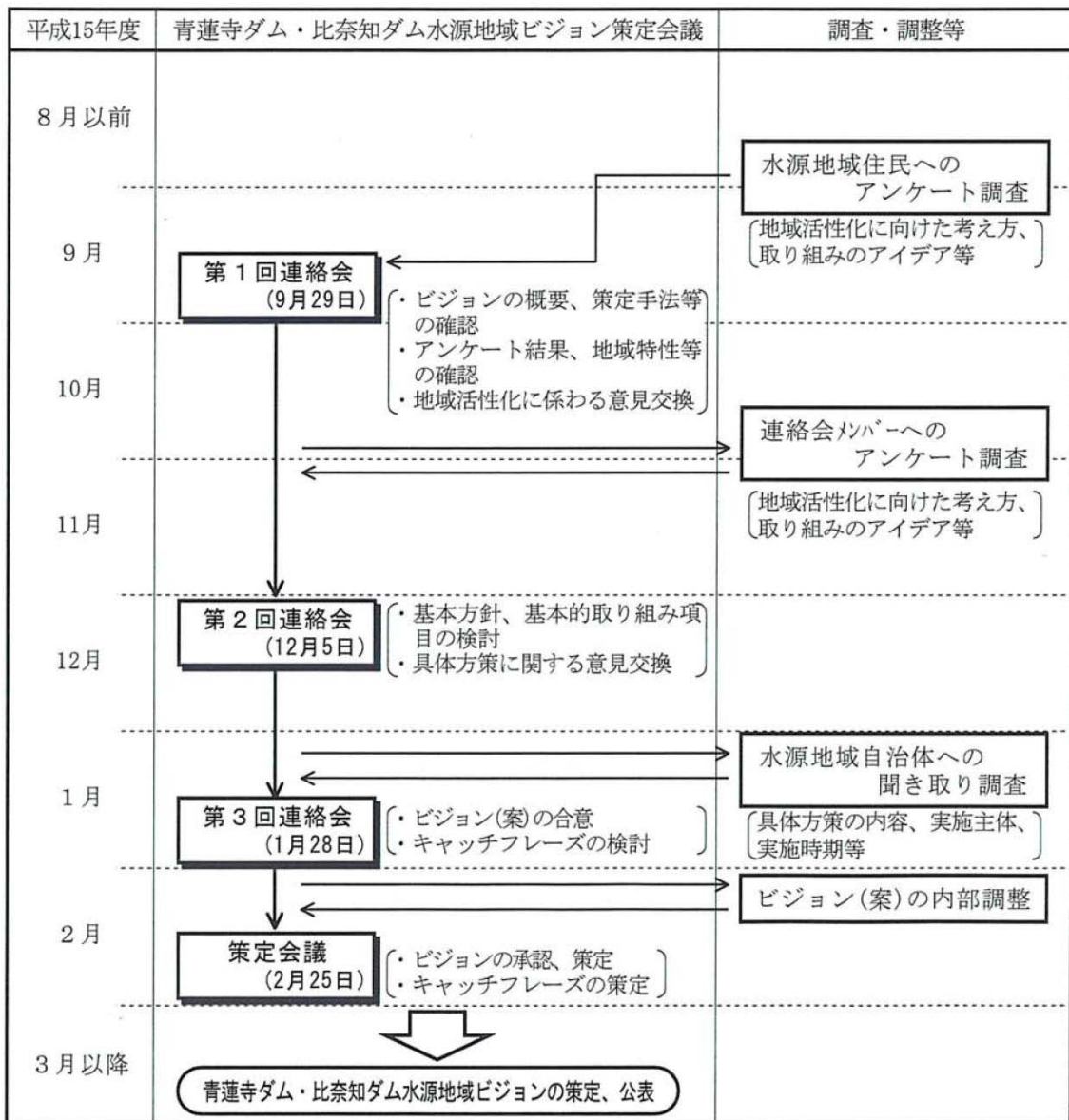


図 7.3.2-1 青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョンの策定経緯

(出典：青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン、平成 16 年 3 月)

(2) 実行連絡会の実施

青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン実現に向けて、実行連絡会を毎年開催している。実行連絡会では、各団体の前年度の取り組み等の報告、及び、当該年度のイベント等の実施予定、その他意見の交換等が行われている。



図 7.3.2-2 実行連絡会の開催風景

(出典：平成 19 年度 木津川ダム群年次報告書作成業務 報告書)

表 7.3.2-2 水源地域ビジョン推進状況

(出典：水源地域ビジョン推進検討業務報告書 平成 19 年 3 月及びダム管理者聞き取りによる更新補完)

H16	H17	H18	H19
<ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水や合併浄化槽の整備推進 ・森林組合と自治体がタイアップした間伐補助事業の促進 ・地域住民による、ダム湖周辺及び流入河川の草刈り、清掃、NPOによるプランターの植え替え ・環境を守る会の設立と啓発看板設置、研修会の実施 ・上下流交流を図る、クラインガルテン、グリーンツーリズムの継続実施 ・NPOを主体として、小学生との連携による比奈知ダム湖の浮島製作設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治体農業集落排水、公共下水道ほか下水処理事業に努める。また、浮島による水質浄化対策の検討、実施の継続 ・森林組合と自治体がタイアップした間伐事業の推進と、間伐材による道路防音壁とうへの利用推進の他流木の一般配布 ・河川清掃、草刈り、市一斉のクリーンハイキング、環境レンジャーによる不法投棄の監視パトロール並びに年 1 回の不法投棄物の撤去、NPOによるダム湖周辺でのプランターの植え替えと清掃 ・「環境を守る会の設立」と会による啓発看板の設置、環境保全研修会、不法投棄・産廃研修会を継続実施 ・浮島製作、鮎環境学習会の小学生参加による学校との連携 ・ダムで使用される木材（看板、柵）に間伐材を使用する ・上下流域の人的交流としてのクラインガルテン、グリーンツーリズム、収穫祭などの継続実施 ・ハイキングコースの利用促進と上流域マップ作成及び、温泉の運営 ・駅伝、マラソン、カヌー教室、ダム見学会の継続実施と流木アートの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・浮島による水質浄化の検討・実施の継続；浮島の補修と米つくり実験 ・青蓮寺ダム・長瀬クリーンハイキング（ボランティアによる道路付近の散乱ゴミ回収）H18.6.4実施 ・ダム湖辺への不法投棄防止看板、青蓮寺ダム湖市道部に不法投棄防止柵の設置H18.7 ・比奈知ダムライトアップ、ダム施設見学会の実施H18.8.6 ・水源地域情報発信のための掲示板をダム管理所に設置 ・青蓮寺、比奈知ダム地域の情報発信掲示板の活用推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浮島よる、空心菜の栽培 H19.7～ ・ほたる撮影会の開催 ・「がさがさ調査隊」による環境学習と水路清掃 H19.7.7 ・ダム湖辺への不法投棄防止看板の設置 ・2007ひなち湖紅葉マラソン大会 H19.11.18実施予定 ・比奈知ダムライトアップ（7/20～8/31）、ダム施設見学会（8月5日実施） ・地域広報誌（公民館ひなち）をつうじてのダム情報の発信 ・関係自治体等のパンフレットをダム管理所に設置し情報の発信

(3) 管理者の地域に向けた活動等

比奈知ダム管理所では、水源地域や下流地域、利用者など一般の方に向けてダム見学会、堤体ライトアップ、環境学習会など地域に向けた活動を実施している。

表 7.3.2-4 地域に向けた活動【ダム施設見学会】

開催期間	行事等名	開催場所	参加者	行事内容
平成 18 年 8 月 6 日	比奈知ダム施設見学会	比奈知ダム		ダム堤体内の見学、金魚すくい、パックテスト（水質の調査体験）、ボートでの貯水池めぐり・森林学習会などを実施。
平成 19 年 8 月 5 日	比奈知ダム施設見学会	比奈知ダム		ダム堤体内の見学、地域特産品フェア、流し素麺などの催しを実施。
平成 20 年 8 月 3 日	比奈知ダム施設見学会	比奈知ダム		ダム堤体内の見学、地域特産品フェア、鮎塩焼き実演販売、金魚すくいなどの各種ゲーム、水質調査体験、炭の無料配布などを実施

※ ダムの堤体ライトアップ同時開催。7 月 20 日～8 月 31 日迄 19 時から 22 時

□ 新聞記事等



図 7.3.2-3(1) ダム施設見学会



図 7.3.2-3(2) ダムの堤体ライトアップ

平成18年8月3日
毎日新聞の記事を掲載

表 7.3.2-5 地域に向けた活動【環境学習会】

開催期間	行事等名	開催場所	参加者	行事内容
平成 17 年 6 月 2 日	環境学習会	比奈知ダム 下流親水公園 せせらぎ水路	名張川漁協 他	ダムの説明及びアユの一生と名張川について 稚アユの放流(約 300 匹)



図 7.3.2-4 環境学習会（左：稚アユ放流、右：アユの一生について学習会）

表 7.3.2-6 地域に向けた活動【比奈知ダム管理 10 周年】

開催期間	行事等名	開催場所	参加者	行事内容
平成 20 年 6 月 24 日 8 月 27 日	比奈知ダム管理 10 周年記念行事	御杖村 比奈知ダム	御杖村 比奈知小	6 月には比奈知ダム 10 周年を記念して御杖村菅野に標柱建立し、8 月に比奈知ダム展望広場にて比奈知小の児童と名張市の木モミジの植樹と作文の入ったタイムカプセルを収めた。

新聞記事等

平成20年6月25日 中日新聞の記事を掲載

平成20年8月28日
毎日新聞の記事を掲載

ダム施設見学会、環境学習会、比奈知ダム管理 10 周年においては、ダムやダム周辺施設等をいろいろな角度からみて頂くことで、地域資源の再発や子供たちの社会や理科の学習授業の一環として効果が現れている。

7.4 ダム周辺の状況

7.4.1 ダム周辺環境整備事業の状況

(1) ダム周辺環境整備

「淀川水系河川空間管理計画」を踏まえて、「湖水にふれあうレクリエーション広場」の造成を目標とし、ダム湖畔で憩える場やレクリエーションの場等の整備を図るものとした。

比奈知ダムは、名張市からわずか5km程度の位置にあり、周辺には夏見廃寺跡や美旗古墳群などの歴史・文化遺産もあり、また、室生赤目青山国立公園といった自然資源も豊かな都市域に隣接した地域である。

比奈知ダム周辺の状況と整備方針を表7.4.1-1に示す。

表 7.4.1-1 比奈知ダム周辺の状況と整備方針

(出典：「平成15年度 比奈知ダム事後評価検討業務報告書」、7章 水源地域動態)

立地条件	名張市は大阪通勤圏の東端にあり、住宅都市として近年人口の増加が著しく、生活都市として将来性に期待される。
自然環境	内陸性気候で生活し易い。付近は山で囲まれており、山相は杉、桧が多い2次林（造林）である。名張川が流れ、緑も多く自然環境に恵まれている。
歴史・文化	美旗古墳群や伊賀流忍者の里である。また、伊勢街道が通り主要道として人の往来が多い。藤堂藩の城下町であり、歴史的遺産が多い。
観光	観光資源としては、室生地域のダムや室生寺、赤目四十八滝、青山高原、香落溪、青蓮寺ダム、また名張市近郊では弥勒寺、藤堂屋敷等が多く存在している。
交通施設	近鉄大阪線や国道165号が名張市内を通り、近くには名阪国道や国道368号も通り交通は便利である。
比奈知ダムの観光	比奈知ダムは名張市から近い中規模な都市型ダムである。観光名所の一環として人々に巡回して貰えるようダム周辺を整備し、地域振興に役立てようとするものである。

周辺整備地区の位置を図7.4.1-1に、施設概要を表7.4.1-2に示す。

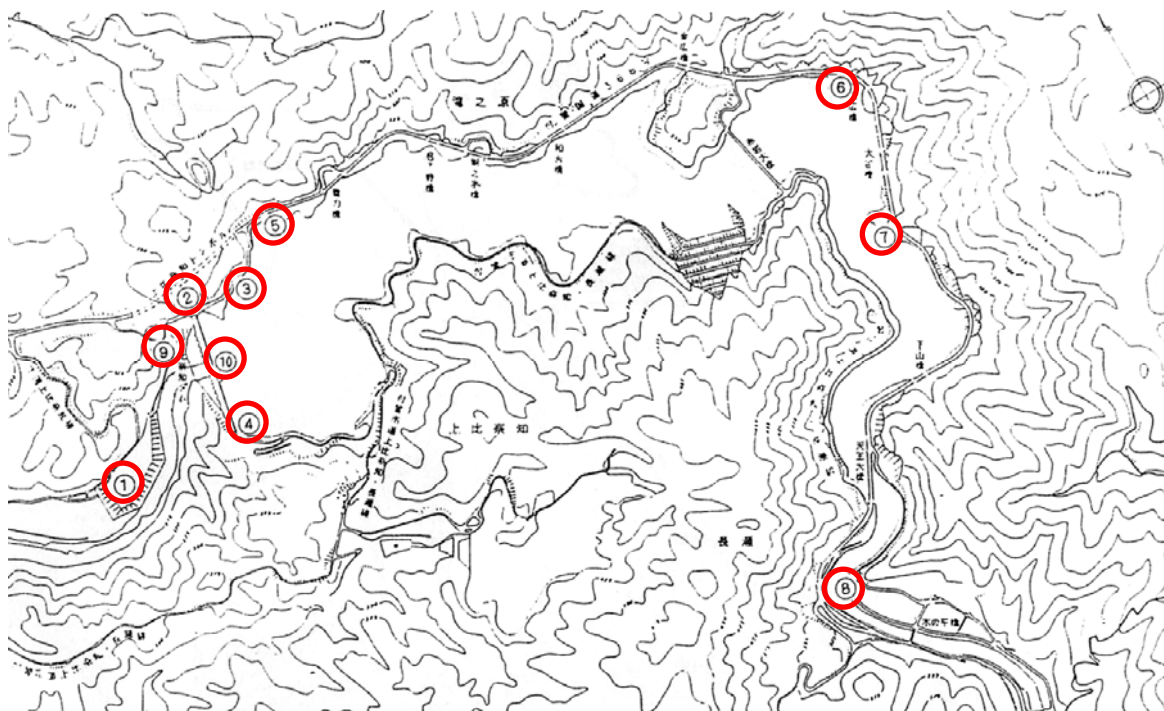


図 7.4.1-1 ダム周辺環境整備 位置図

(出典：「平成 15 年度 比奈知ダム事後評価検討業務報告書」、7 章 水源地域動態)

表 7.4.1-2 施設概要

(出典：「平成 15 年度 比奈知ダム事後評価検討業務報告書」、7 章 水源地域動態)

地区名	施設概要	管理者
①下流親水公園	四阿2基、パーゴラ1基、トイレ1棟、園路、ベンチ6基、駐車場、水飲み場1基、照明施設、擬木橋3基、植栽1式 (せせらぎ水路L=250m)	名張市
⑤登力展望公園	四阿1基、ベンチ7基、展望台、駐車場、ボードウォークL=250m、植栽1式	名張市
⑥やなひろ文化財公園	四阿1基、縁台3基、ベンチ6基、駐車場、磨崖物1体、植栽1式	名張市
⑧長瀬河川親水公園	親水護岸L=120m、駐車場、植栽1式	名張市
②ダム展望広場	上流：展示スペース、パーゴラ1基、ベンチ9基、時計塔1基、駐車場、水飲み場1基、植栽1式 下流：トイレ1棟、四阿1基、ベンチ6基、駐車場、ボードウォークL=40m、植栽1式	機構
③右岸上流遊歩道	遊歩道L=200m、ボードウォークL=75m、四阿1基、ベンチ5基、駐車場、植栽1式	機構
④ダム左岸広場	湖命碑1基、水飲み場1基、ベンチ4基、駐車場、湖名碑	機構
⑦大谷地区	四阿1基、パーゴラ1基、擬木ベンチ11基、遊歩道、駐車場、擬木フェンス、植栽1式	機構
⑨右岸下流広場	照明施設、ライトアップ照明1基、植栽1式	機構
⑩ダム天端	歩道、バルコニー	機構

主要地点の整備状況は表 7.4.1-3 のとおりである。

表 7.4.1-3 主要地点の整備状況

(出典：「平成 15 年度 比奈知ダム事後評価検討業務報告書」、7 章 水源地域動態)

下流親水公園	土捨場跡地を整備して中央に人工水路を造り、ダムの水を流し下流の農業用水として利用される。ダムを望める場所でせせらぎ水路を中心とし、四阿や園路を配置し自然と親しみ水辺における憩いの場となる公園とした。
ダム展望広場	ダム堤体への玄関口として整備し、ダム全容が見渡せる。上流には展示パネル施設を設置し機構事業の説明、ダムの役割等の広報を行うとともに、駐車場や四阿等を整備した。
登力展望公園	展望台からは比奈知ダム及び周辺を一望でき、貯水池への開放感を与える。公園からはダムへ続く遊歩道を配置した。
やなひろ文化財公園	周辺を一望できる見晴らしのよい場所に、川原にあった線刻不動明王を公園のシンボルとして移設した。



下流親水公園



ダム展望広場



登力展望公園



やなひろ文化財公園

写真 7.4.1-1 主要地点の整備状況

(参考：「平成 15 年度 比奈知ダム事後評価検討業務報告書」、7 章 水源地域動態)

写真提供：比奈知ダム管理所

(2) その他の整備状況

比奈知ダム建設と併せて施工された付替道路（国道 368 号）により、ダム上流の集落（長瀬地区）から名張市街地へは、ダム建設前は約 40 分程度だったが、現在約 20 分程度に短縮され、アクセスの利便性は向上している。

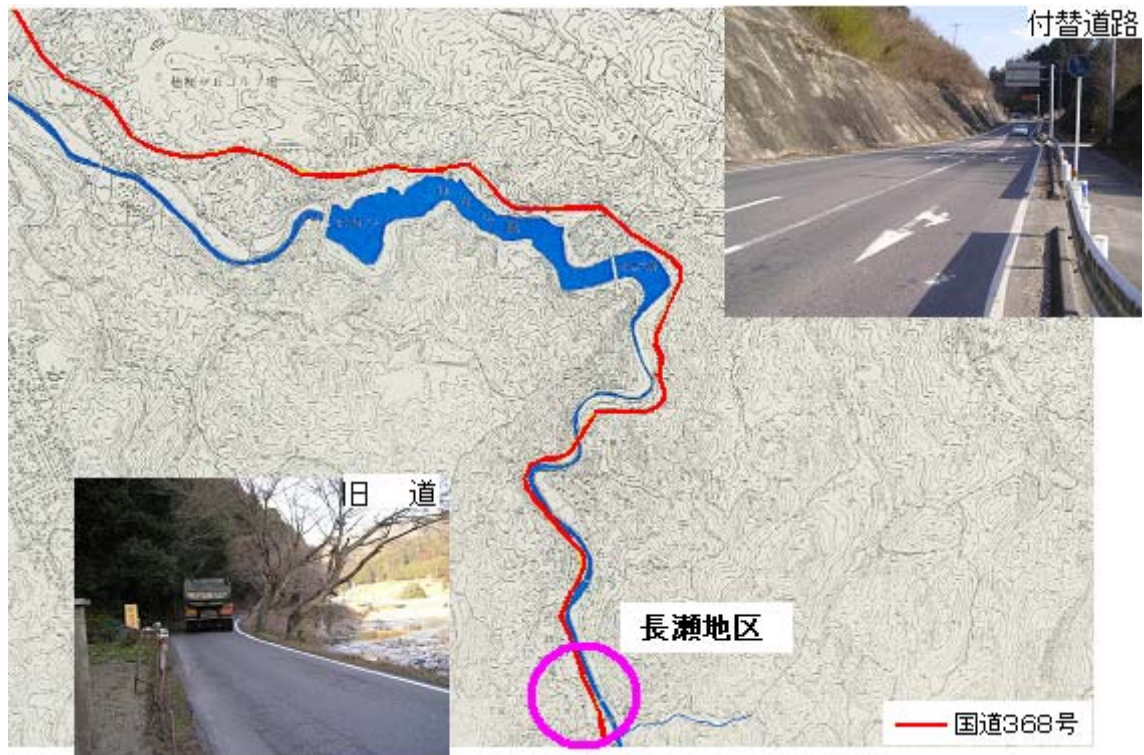


図 7.4.1-2 比奈知ダム周辺の変化（付替道路）

（出典：「平成 15 年度 比奈知ダム事後評価検討業務報告書」、7 章 水源地域動態）

7.4.2 ダム周辺施設の利用状況

比奈知ダム周辺の公園利用者数の推移は以下のとおりであった。

公園利用者数は、H13 が約 16,000 人で最多となっており、8 ヶ年の平均利用者数は約 12,900 人である。

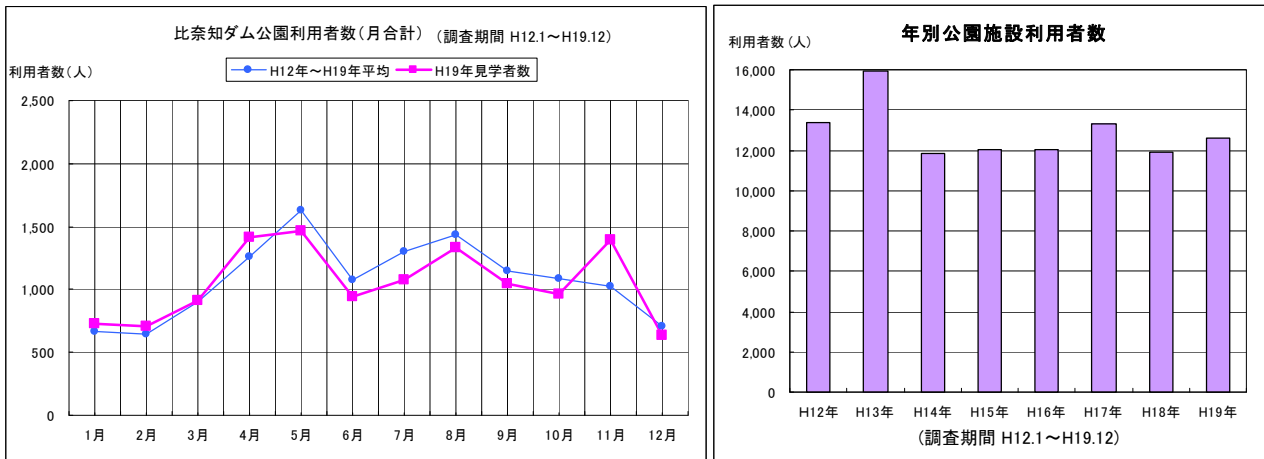


図 7.4.2-1 比奈知ダム周辺の公園利用者数 (調査期間 : H12.1~H19.12)

(データ出典 : 比奈知ダム管理所)

7.4.3 ダム及び周辺のイベント等の開催状況

比奈知ダム周辺において地域住民やNPO等市民団体と協力して名張ひなち湖紅葉マラソン大会、名張川クリーンアップ大作戦、浮島の設置、地域（水みち）マップの作製などを行った。

表 7.4.3-1 比奈知ダム周辺のイベント等の開催状況【名張ひなち湖紅葉マラソン大会】

開催期間	行事等名	開催場所	参加者	行事内容
平成 16 年 5 月 30 日	2004 名張ひなち湖 紅葉マラソン大会	名張市 比奈知ダム湖	名張市民他 300 名参加	毎年恒例のマラソン大会で、 ひなち湖周辺道路に、 2.0km・3.0km・5.0km・10.0km のマラソンの他、ジョギング 2km、ウォーキング 5km のコ ースが設けられている。小学 生から 60 歳以上の高齢者ま で幅広い年齢層の市民が参 加。
平成 17 年 11 月 20 日	2005 名張ひなち湖 紅葉マラソン大会	名張市 比奈知ダム湖	名張市民他 345 名参加	
平成 18 年 11 月 19 日	2006 名張ひなち湖 紅葉マラソン大会	名張市 比奈知ダム湖	名張市民他 432 名参加	
平成 19 年 11 月 18 日	2007 名張ひなち湖 紅葉マラソン大会	名張市 比奈知ダム湖	名張市民他 431 名参加	
平成 20 年 11 月 16 日	2008 名張ひなち湖 紅葉マラソン大会	名張市 比奈知ダム湖	名張市民他 400 名参加	



図 7.4.3-1(1) マラソン大会開催



図 7.4.3-1(2) マラソン大会開催

□ 新聞記事等



図 7.3.2-7 2008 ひなち湖紅葉マラソン大会出走者募集

(出典:RUNNET (マラソン専門公式 HP) ホームページ: <http://runnet.jp/home.php>)

表 7.4.3-2 比奈知ダム周辺のイベント等の開催状況【名張川クリーンアップ大作戦】

開催期間	行事等名	開催場所	主催	参加者	行事内容
平成 16 年 5 月 30 日	名張クリーン大作戦	名張市 名張川河川敷	名張クリーン大作戦実行委員会	名張市民他 300 名参加	流域住民一人ひとりのゴミに対する意識と川を綺麗にする意識
平成 17 年 6 月 5 日	名張クリーン大作戦	名張市 名張川河川敷	名張クリーン大作戦実行委員会	名張市民他 660 名参加	を高めることを
平成 18 年 6 月 4 日	名張クリーン大作戦	名張市 名張川河川敷	名張クリーン大作戦実行委員会	名張市民他 1,100 名参加	目的として、広く
平成 19 年 6 月 3 日	名張クリーン大作戦	名張市 名張川河川敷	名張クリーン大作戦実行委員会	名張市民他 1,600 名参加	一般住民のボランティアと一緒に
平成 20 年 6 月 1 日	名張クリーン大作戦	名張市 名張川河川敷	名張クリーン大作戦実行委員会	名張市民他 6,034 名参加	に河川敷の美化活動を行った。



図 7.4.3-2 名張クリーンハイキング

平成18年6月5日 読売新聞の記事を掲載

表 7.4.3-3 比奈知ダム周辺のイベント等の開催状況【地域（水みち）マップの作製】

開催期間	行事等名	開催場所	参加者	行事内容
	地域マップの作製			比奈知ダム一周コース
	水みちマップ作製		NPO 地域と 自然	名張川市内にある科せを現地調査して1枚のマップに整理

□ 新聞記事等

平成19年1月13日 情報誌YOU 1月前半号の記事を掲載



平成19年2月7日 朝日新聞の記事を掲載

図 7.4.3-3 なばり水みちマップ

表 7.4.3-4 比奈知ダム周辺のイベント等の開催状況【浮島の設置】

開催期間	行事等名	開催場所	参加者	行事内容
平成 16 年 7 月 14 日	浮島の設置	比奈知ダム湖	長瀬小学校生徒 NPO 地域と自然	水質浄化と地元産業振興を目的に開催。ネコヤナギ、稲など 7 種類の植物を浮島に植え、ダム湖に設置。
平成 19 年 7 月 3 日	「浮島」による水質浄化	比奈知ダム湖	NPO 地域と自然	空心菜を利用した浮島をダム湖に設置。



図 7.4.3-4 浮島の設置

表 7.4.3-4 比奈知ダム周辺のイベント等の開催状況【ホタル鑑賞】

開催期間	行事等名	開催場所	参加者	行事内容
平成 19 年 7 月 7 日	ホタル鑑賞会と親水公園の生き物調査	比奈知ダム 下流親水公園内	がさがさ調査隊	下流親水公園内にて、身近な自然へのふれあいを地域の方々に体験してもらう。
平成 20 年 6 月 19 日 6 月 21 日	ホタル鑑賞会と親水公園の生き物調査	比奈知ダム 下流親水公園内	がさがさ調査隊	



図 7.4.3-5 ホタル鑑賞会と親水公園の生き物調査

□ 新聞記事等

平成20年6月14日
情報誌YOU
6月号
の記事を掲載

表 7.4.3-5 比奈知ダム周辺のイベント等の開催状況【流木アート】

開催期間	行事等名	開催場所	参加者	行事内容
平成17年 8月21日	流木アートを作る う会の開催	比奈知ダム 管理所	わさびの 会 NPO 地域と 自然	大雨や台風の後にはダムに流 れ着くスギやヒノキなどの 流木を利用して物作りに挑 戦してもらった。

□ 新聞記事等



図 7.4.3-6 流木アート製作一例

平成17年8月22日
朝日新聞の記事を掲載

比奈知ダム周辺のイベント等の開催状況として紹介している各種イベントについては、地域住民や市民団体と連携することで地域活性化に寄与している。特に、ひなち湖紅葉マラソン大会や名張クリーン大作戦は、地域住民の協力と各関係機関との連携があつて多くの参加者があり、メディア等にも紹介され、観光地としてのダムという地位も得ている。

7.5 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果

(1) ダム湖利用実態調査

比奈知ダムでは、平成12年度より「河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)」を実施している。

平成18年度の年間利用者数は約4万9千人*であり、平成12年以降横ばいとなっている。最も多い利用方法は「散策」であった。

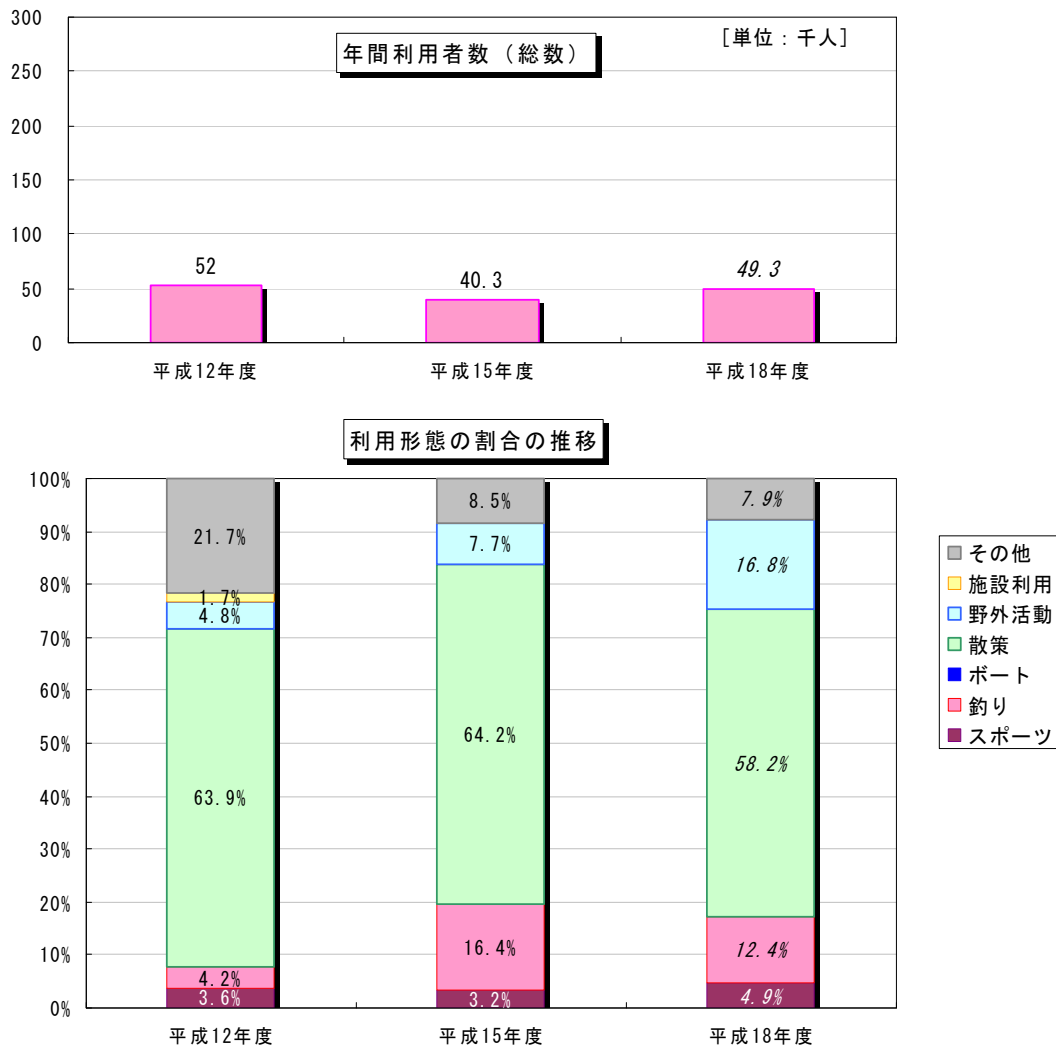


図 7.5-1 1年間のダム湖利用状況

(河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果)

(2) 利用者の満足度

「ダム湖利用実態調査」では来訪者に対してアンケートを行い、ダム湖を利用した感想について5段階による回答を求めている。

1. 満足している 2. まあ満足している 3. どちらともいえない 4. やや不満である 5. 不満である

以下に、上記アンケート結果による比奈知ダムの利用者の満足度を整理する。

表 7.5-1 アンケート調査結果

	1.満足	2.まあ満足	3.どちらともいえない	4.やや不満	5.不満	有効回答数
平成15年度	46 (46.0%)	36 (36.0%)	16 (16.0%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	99 (99.0%)
平成18年度	50 (43.9%)	45 (39.5%)	13 (11.4%)	5 (4.4%)	1 (0.9%)	114 (100.0%)

(出典：各年度ダム湖利用実態調査結果、比奈知ダム管理所)

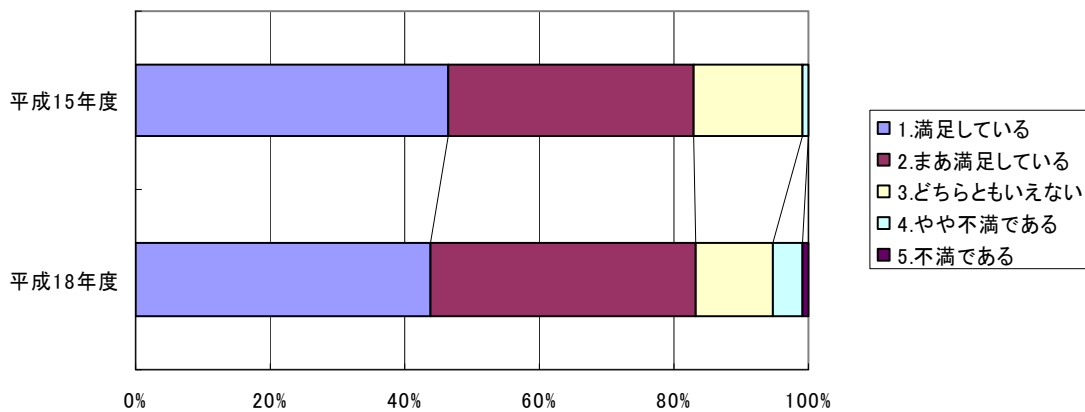


図 7.5-2 アンケート調査結果

7.6 その他関連事項の整理

(1) 文化財等

比奈知ダム水源地域周辺には、国指定を受けている重要文化財建造物の国津神社十三重塔（旧美杉村）や県指定建造物の安能寺鐘楼門（御杖村）などの文化財がある。

表 7.6-1 比奈知ダム流域内文化財一覧

(出典:平成 17 年度 木津川ダム流域情報調査報告書)

市町村名	区分	指定種別	名 称
名張市	県	天然記念物	長瀬のヒダリマキガヤ
津市 (旧美杉村)	国	建造物	国津神社十三重塔
	県	彫刻	日神石仏群附種子碑ほか
		天然記念物	国津神社のケヤキ
御杖村	県	建造物	安能寺鐘楼門

(2) 流木の有効活用

(独)水資源機構の関西支社管内のダム（高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、布目ダム、比奈知ダム、日吉ダム、一庫ダム）においては、ダム湖に流入する流木の有効活用を図る取り組みを始めており、比奈知ダムでは流木の堆肥化や炭焼きを試行的に実施し、イベント時などに来場者に配布している。



流木を破碎後、堆肥化

試行的に堆肥を配布

流木を破碎後、堆肥として再利用（比奈知ダム）

図 7.6-1 比奈知ダムにおける堆肥化作業の状況

7.7 まとめ

○比奈知ダム周辺において、河川の美化意識を高める「名張クリーン大作戦」や、毎年開催される「名張ひなち湖紅葉マラソン大会」、等のイベントが開催され、市民団体やNPOの参画もあり、地域活性化に向けた取り組みも盛んであり、身近な生き物を通じた体験を実施した「ホタル鑑賞会」や「ダム施設見学会」など水資源機構主催として定期的に開催されている。

○青蓮寺ダムと統一して、「青蓮寺ダム、比奈知ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のための行動計画」とした水源地域ビジョンを策定しており、住民と管理者が一体となって継続的な活動を行っている。

【今後の方針】

○ダム管理者として、ダム周辺施設を活かした活動、イベント等への参加等に積極的に取り組むとともに、水源地域ビジョンにおいて策定された方策を今後も引き続き、関係自治体・地元・NPOなどと共に推進していく。

7.8 文献リスト

比奈知ダムの水源地域動態に係わる事後評価のため、以下の資料を収集整理した。

表 7.8-1 「7.水源地域動態」に使用した資料リスト

No.	文 献 ・ 資 料 名	発 行 者	発 行 年 月	備 考
7-1	比奈知ダムパンフレット	比奈知ダム管理所		
7-2	青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン	青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン策定会議	平成 16 年 3 月	
7-3	比奈知ダム管理所ホームページ http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/index_n.htm			インターネットホームページ
7-4	平成 15 年度河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕(ダム湖利用実態調査編)	国土交通省河川局 河川環境課	平成 16 年 10 月	
7-5	平成 18 年度 比奈知ダム河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕(ダム湖利用実態調査編)	木津川ダム総合管理所	平成 18 年度	
7-6	平成の大合併 日本全図	(株)ゼンリン	平成 18 年 3 月	
7-7	比奈知ダム工事誌	比奈知ダム建設所	平成 11 年 3 月	
7-8	名張市ホームページ http://www.city.nabari.mie.jp/	名張市		インターネットホームページ
7-9	津市観光協会ホームページ http://tsukanko.jp/	津市観光協会		インターネットホームページ
7-10	御杖村役場ホームページ http://www.vill.mitsue.nara.jp/index2.html	御杖村役場		インターネットホームページ
7-11	平成 15 年度 比奈知ダム事後評価検討業務報告書	財団法人 水資源協会	平成 16 年 3 月	
7-12	平成 18 年度 木津川ダム群年次報告書作成業務 報告書	木津川ダム総合管理所	平成 18 年 9 月	
7-13	平成 19 年度 木津川ダム群年次報告書作成業務 報告書	木津川ダム総合管理所	平成 19 年 10 月	
7-14	平成 17 年度 木津川ダム流域情報調査報告書	木津川ダム総合管理所	平成 18 年 3 月	
7-15	美杉村 50 周年記念誌	美杉村	平成 16 年 12 月	
7-16	御杖村沿革 (行政史)			奈良県立図書館所蔵資料